

ワシントンポスト 1994年5月13日付け

## 公文書館竣工、館長は空席 — 「決定間近」と側近—

ワシントンポスト、ビル・マッカースター／ アル・カメン

メリーランド州と連邦政府は昨日、第二公文書館の竣工式を挙行了。これは、連邦政府の新ハイテク記録貯蔵施設で、メリーランド州カレッジパークに289.6百万ドル（邦貨304億8百万円）をかけてこの程完成した。ただし、館長は別だ。

国立公文書館記録管理庁の職員は、クリントン大統領がこのメリーランド大学キャンパスに出現した巨大な6階建てのビルに姿を見せ、待望久しい長官、つまり公文書館長の選任を行うかと期待を寄せていた。結局大統領は姿を見せずじまい。公文書館首脳の中には、これは大統領が公文書館長を決められなかったせいのかとの穿った見方もある。

高官筋によると、クリントン大統領は「もう間もなく決定を下そうというあたり」で、大統領がこの日姿を見せなかったことと年俸119,300ドル（邦貨1250万円）の館長職の空席とは無関係とのこと。側近は、公文書館長が15カ月間も決まらない理由は、政府側と研究者グループの双方が次々と候補者を出してくるためだそう。

アメリカ国立公文書館長は、1993年2月以来空席となっている。前の公文書館長ドン・ウィルソン氏はレーガン政権に任命され、民主党から「不在館長」と呼ばれた人。テキサスに新設するジョージ・ブッシュ大統領図書館の方向性をめぐる議論の最中に辞任した。国立公文書館長のポストの任期は決まっていない。このポストは適性にもとづいて（専門家が）選任される。政治的な選任は行わないと法令に定められている。

管理筋は、クリントン大統領が指名に手間取っている主な理由に、現在第1候補とされている歴史学者、スタンレー・カッツ氏（プリンストン大）にニューヨーク選出のパトリック・モイニハン議員が反対していることをあげている。

また別の理由に、政府が情報を紙ではなくコンピュータで貯蔵する方針に方向転換したため、公文書館の業務が変化したこともあげられている。「（これからの公文書館が担うのは）これまでとまったく異なる業務です。…情報技術の変化の結果と情報アクセスの諸問題のために公文書館の役割が変化し、一層複雑になりました」とこの筋は語っている。

米国歴史協会のページ・ミラーは、ホワイトハウスの（公文書館に対する）関心が十分でないことを指摘している。管理筋によれば、最終選考者残った候補者には、メアリー・メープル・ダン氏（スミス・カレッジ）、ウィリアム・ジョセフソン氏（元平和部隊理事長、ニューヨーク市法律顧問）、リチャード・コーン氏（ノースカロライナ大チャペルヒル校）、ジョン・クーパー氏（ウィスコンシン大マディソン校）が含まれているという。また、他の政府筋は、テキサス・カレッジ学長でL. B. ジョンソン元大統領の腹心、リチャード・ハーデスティ氏も候補者の一人であり、さらに現在館長代行のトラディ・ピーターソン氏が館長のポストに意欲を見せ、これが館内のスタッフを二分しているとも伝えられている。そうでなくても公文書館の内部は、ウィルソン館長時代の管理の緩みに加え、ブッシュ政権下でのホワイトハウスのコンピュータ通信が大統領の公文書として公文書館に入るべきであったかどうか、ウィルソン館長はこれにどう関わるべきだったかなどについて、批判が燃え上がっているところなのである。

昨日、メリーランド大学長ウィリアム・E・カーウィン氏は公文書館新館を「ホイヤー議員の建てた家」と述べ、メリーランド州選出のステイニー・H・ホイヤー議員が地元メリーランドに公文書館を誘致しようとした努力を称えた。ホイヤー議員はこれをうけて、前の副館長代行フランク・バーク氏が新館建設に向けて議会の

# Archives Is Dedicated, Sans Leader

Decision on Director Is Near, Aide Says

By Bill McAllister and Al Kamen  
Washington Post Staff Writers

Maryland and federal officials yesterday dedicated Archives II, the federal government's new high-tech storage vault in College Park, a \$289.6 million facility that has everything—except a director.

Officials at the National Archives and Records Administration had hoped that President Clinton would appear at the massive six-story building on the University of Maryland campus and announce his long-awaited choice to head the agency. The president didn't make the event, leading some agency officials to suspect he ducked the ceremony because he has yet to nominate a national archivist.

A senior administration official, speaking on the condition of anonymity, said that Clinton is "close to a final decision" and that the president's ab-



Rep. Steny H. Hoyer speaks at dedication of the Archives in College Park.

支持を取り付けるのに大変な苦勞をしたことなどをとりあげ、公文書館関係者の努力に感謝の意を表明した。

なお、設計にとくに配慮が施された新館の倉庫には、政府の第2次世界大戦以降の記録の多くが収蔵される。ただし、独立宣言などの「古文書」は、今後も引き続き国立公文書館本館展示場に保管されることになっている。(写真はカレッジパークの新館竣工式で祝辞を述べるステイニー・H・ホイヤー議員)

(訳・小川千代子、国際資料研究所)

## ■はみだし [ニュース]

### ①第1回アート・ドキュメンテーション研究

フォーラム

開催日：1994年11月18日(金)～19日(土)

会場：国立国会図書館 新館講堂

主催：アート・ドキュメンテーション研究会／国立国会図書館

統一テーマ：美術情報と図書館

11月18日(金)

研究発表会 13:00-17:00

テーマ：アート・ドキュメンテーションの職能と教育

※研究発表会後、懇親会・交流会を予定

11月19日(土)

講演会 10:30-12:00

講演者：マギー・ウィスハウプト女史

(オランダ王立図書館美術部長)

題目：美術研究者と美術図書館員：電子時代の技能と領域

特別報告 13:30-14:00

報告者：熊田敦美氏(国立国会図書館副館長)

題目：マルチメディアと関西館構想(仮題)

シンポジウム 14:00-16:30

テーマ：ミュージアム・ライブラリー・アーカイヴをつなぐもの—アートドキュメンテーションからの模索と展望

パネリスト：

高階秀爾氏(国立西洋美術館長)

上田修一氏(慶応義塾大学文学部図書館・情報学科教授)

安澤秀一氏(駿河台大学文化情報学部長)

コーディネータ：

水谷長志氏(東京国立近代美術館)

申込方法：往復ハガキにて氏名・職業(所属)、及び参加希望事業(講演会・シンポジウム等)を明記の上、下記宛て申込

〒110 台東区上野公園7-7 国立西洋美術館内 波多野宏之研究室